

甘木朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

甘木朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.18 平成18年5月1日発行 第7巻第1号(通巻第18号)

Vol.18

「ごあいさつ」

甘木朝倉介護保険事業者協議会
副会長 平田 克實



この会報がお手元に届くころには、彩りゆたかな自然に、新生の息吹が感じられる季節になっていることと思われます。この原稿を書いている今は桜花爛漫、一陽来復のはなやいだ空気に包まれています。「サイタ サイタ サクラガサイタ」(戦時中の国語一年生教科書)で、桜のはなびらの潔く散る姿に重ねて軍国のために潔い死の憧れを教え込まれた私には、桜の花の美しさもさることながら、ちょっと複雑な気持ちになります。

さて、今年4月1日から「高齢者虐待防止・養護者支援法」が施行されます。家庭内での虐待ばかりではなく、介護施設、在宅サービスのスタッフ等による虐待についても職員に通報を義務づける、といった内容で特にケアマネージャーの役割が重要になってくると考えられます。17年度からの介護保険制度の見直し、続いて療養病床を今年から6年かけて廃止し、老健・有料老人ホームなどの転換あるいは一般的な病院に移行する、といった「介護保険三施設」制度の変更等、やつぎばやの改革が推進される現場ではその対応に追われているのが実情ではないでしょうか。

今後、協議会に所属する私達会員は現場の当事者として、私達をとりまく介護保険制度の動向に十分注目する必要があり、協議会の部会研修・拡大運営会議での意見集約等を通して、利用者側に立った視点からの声を上げていく必要があると考えます。

最後に私事で申し訳ございませんが、二期四年間会員の皆様には大変お世話になりましたが、今期で退任することになりました。多くの方々との出会い、主体的な部会開催、積極的な研修会参加、拡大運営会議での熱心な討議、地域の方々との設立記念行事等あらゆることが今からの私の生きていく糧となり、励ましになることと感謝しております。今後皆様のご健康ご活躍、協議会の益々のご発展をお祈りしてお礼と致します。

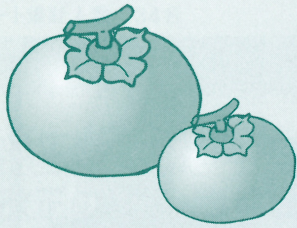
事業報告

設立記念イベント「介護フェスタ'05 in 杷木」

去る、11月26日(土)午後1時30分より杷木町社会教育センター(楽邑館)において、甘木朝倉介護保険事業者協議会設立5周年記念事業「介護フェスタ'05in杷木町・東峰村」を行いました。



開会の辞 平田副会長



地域ボランティア団体による演目



▲ 日迎太鼓



▲ 杷木中学校 演奏楽部



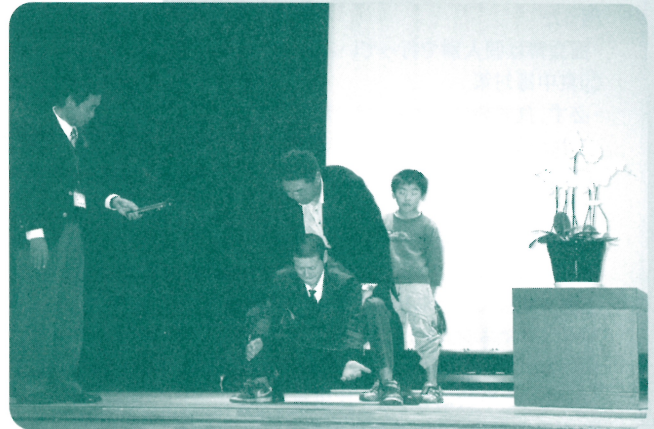
▲ 清和園・宝珠の郷
(介護劇)

記念講演会



▲ (現) 巨人一軍コーチ
岸川 勝也氏

野球人生を語る “いま、むかし”

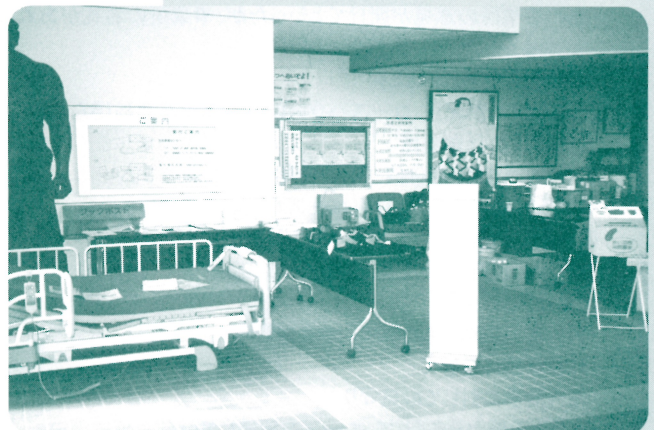


▲ 実技指導

常設コーナー



▲ 介護食実演



▲ 福祉用具展示

**皆様のご協力で募金の金額が3,966円になりました。
共同募金に全額寄付させていただきます。**

グループホーム部会

部会長 大楠 啓子

—第9回部会報告—

①外部評価の情報

- ・一度もしていなので心配
- ・昼食は一緒にした方がよいと言われる。
- ・設備面の改善が難しい

②個人情報保護法について

- ・どこまで名前を出してよいか分からない。
- ・病院で知人と言われる方に会って、この方は何方と聞かれたときに困った

- ・面会簿は個人別で行っている

③食中毒対策

- ・必ず、食器類は乾燥機にかけている。
- ・これから暑くなるので注意が必要
- ・部屋の食べ物の管理をしていく。

—第10回部会報告—

I. リスクマネジメント勉強会(あいおい損保、坂本支店長)

①老人施設におけるリスクマネジメント

1) リスクマネジメントとは

- ・事故の原因は人のミス 事故原因を究明して防止策を講じる
- ・ミスしても事故にならない仕組み

2) 事故をゼロにするのは可能か?

- ・予見可能性と回避可能性
- ・危険度を決めておく。防止策ができる。具体的なルールを決める

3) ヒヤリハットだけでは不十分。ヒヤリハットの進め方・位置付け

4) 事故発生時の対応 家族への連絡、説明、信頼感

II. 事故から学ぶ危険な介護 絶対やってはいけない危険行為、行ったものは退場

III. 施設内危険箇所点検表

- ①何処が ②どんな状態で ③どんな危険が ④どんな対策を

—第11回部会報告—

①18年度の活動反省

- ・リスクマネジメントの勉強会は施設でも活用している
- ・介護フェスタと部会の月が重なり忙しかった
- ・他の事業所の意見が聞けてよかったが、事業所の名札があればもっとよかった。
- ・勉強会を増やしてほしい

②18年度の部会長(ローズハウスいしずえ) 副部会長(きらく荘)

③18年度の活動計画

- 第一回 活動計画確認・意見・情報交換
- 第二回 勉強会 足体操(ローズハウスいしずえ)
- 第三回 勉強会 リスクマネジメント(予定)
- 第四回 18年度の反省、意見、情報交換会

④意見、情報交換

- ・利用者の個別でもたれている金銭管理
- ・外部評価について
- ・荘外散歩に対しての見守り
- ・家族との関わり多くして、ニーズを解決していく
- ・他事業所より職員の研修を受け入れてできますか。

第9回開催H17.7.13	全7事業所	20名参加
第10回開催H17.11.2	全7事業所	20名参加
第11回開催H18.2.8	全7事業所中6事業所	17名参加

介護福祉施設部会

部会長 石丸 花江

—第16回部会報告—

①拡大運営会議の報告

②福祉施設部会下部組織「うぐいす会」について

- ・事業計画により進行中
- ・前年度のテーマのパンフレットについて料金表の改定が予想されるために保留していたが料金表を分離して完成を目指す。

③設立5周年記念事業について

- ・杷木町 楽邑館 平成17年11月～平成18年2月

④その他

- ・介護保険制度改革は、本来の平成18年4月施行に先行するかたちで性急に、食費、居住費の利用者負担化を10月から前倒しに実施された。そしてその過程において、利用者にとっては大幅な負担増をもたらし、一方特養ホームにおいては実質4%以上の介護報酬ダウンとなる。その結果、介護サービスを必要とする高齢者の費用面における利用の困難性と、サービス提供者側においてはサービスの質の低下を招くことが懸念される。

この改革期において、特養ホームは、他機能施設と比して、どのような機能を強化し備えるのか、あらためて「特養ホームにおける介護・居住性そして医療機能」が問われることになる。このような状況を踏まえ、介護保険制度の本旨・福祉の原点に立ち返り、「高齢者の尊厳と安心ケアの確立」に向けて、現場発信の制度改革、商品サービス提供の実現、自己改革と新たな機能・施設づくりを努める必要がある。

—第17回部会報告—

①拡大運営会議の報告

②うぐいす会からの報告

- ・4月12日 出席14名
- パンフレットの件 短期利用の現状と問題点

- ・5月10日 出席15名

排泄における問題点と解決

- ・6月14日 出席15名

食欲のない利用対応について

③交流会

—第18回部会報告—

①拡大運営会議の報告

②今年度反省と来年度事業計画について

1) 18年度事業計画

第一回 総会報告

第二回 記念イベント協力

第三回 うぐいす会との交流会

第四回 今年度反省・次年度計画

2) 18年度予算

3) 18・19年度部会長 愛光園 施設長 中野 恵子

副部会長 清和園 施設長 植高 千代美

③福祉施設部会下部組織「うぐいす会」について

報告 12月13日 レクリエーションについて 参加者12名

次回 3月14日 新旧役員紹介

パンフレット作成について

18年度役員選出

④その他

- ・介護保険サービス情報公表制度施行に付き、調査員の推薦当地区より2名選出

第16回開催H17.10.11	全8施設中6施設	6名参加
第17回開催H17.12.2	全8施設中6施設	6名参加
第18回開催H18.2.22	全8施設	8名参加

居宅介護支援部会

部会長 中原 周司

—第23回部会報告—

- ①新役員紹介
- ②部会構成メンバー変更
 - 新加入 ニーズケアプランサービス (1G)
 - ケアプランサービスあさくら (3G)
 - 退会 夜須町社協 夜須町指定居宅介護支援事業所
- ③平成17年度年間計画
- ④平成18～20年度三役予定について
- ⑤その他
 - ・居宅介護支援部会連絡先一覧、現任介護支援専門員の訂正等確認。
 - ・前年度研修報告等について。
 - ・大幅な制度の見直しがあるのでこれまで以上にケアマネージャー間の情報交換の場が必要。

—第24回部会報告—

- ①広域連合朝倉支部担当者 古賀様より
〈福祉用具購入書式変更について〉
- 1. 領委任払いの福祉用具購入申請について
〈認定関係業務について〉
 1. 認定申請時の保険証の添付について
 2. 主治医意見書について
 3. 訪問調査の連絡先、立会いの必要性について
〈給付関係業務について〉
 1. 居宅サービス計画作成依頼届け出時の注意点
 2. 関係する情報の記載について
 3. 住宅改修について
 4. 高額介護費支給申請について
〈その他〉
 1. 事故報告について
- ②専門部会よりの検討依頼
 1. FAXによる個人情報提供について
 2. 各事業所よりの報告書提出について
 3. 居宅管理指導部会との連絡会について
- ③5周年記念事業について
- ④その他

—第25回部会報告—

- ①研修会
 - ・講師 久留米大学医学部看護学科 助教授 中島洋子先生
 - ・講義内容 認知症予防とこれからの地域支援体制作り
 - ☆講義内容については別紙参照。
- ②記念事業について
 - ・5周年記念事業についての内容確認、各事業所にポスターの配布依頼。
- ③その他
 - ・介護保険改正に伴い、1月に支援部会を実施予定、内容、講師に付いては今後、グループと役員で検討予定。
 - ・久留米大学医学部看護学科特別講義案内。

第23回開催H17.4.11 全25事業所中22事業所 29名参加
第24回開催H17.7.11 全25事業所中24事業所 37名参加
第25回開催H17.11.14 全25事業所中21事業所 37名参加

通所リハビリ部会

部会長 近藤 洋子

「平成17年度を振り返って」

平成17年度は情報交換の場を現場で目で見え体験によって行おうとするという事で、①アスピアのデイケア体験見学②通所介護部会との合同による「通所でのリハビリテーション」というテーマで介護現場での注意やポイント等を現場で研修を行いました。

各々の体験や研修は「百聞は一見にしかず」で大変効果的なものであったと思います。また、最後の部会では③新予防給付についての勉強会や情報交換会等を行いました。部会では各々の施設が同じレベルでサービス提供しようという事で些細なことでも意見や質問を交換し話し合う部会であったし、今後もそうでありたいと思います。

プランサービスあさくら (3G)

介護保健施設部会

部会長 山口 由紀子

「今年度の介護老人保健施設部会を振り返って」

今年度の部会開催内容

- 第20回 自己紹介、各職種意見交換
- 第21回 介護報酬見直しに対する対応
- 第22回 利用料変更について
- 第23回 各職種意見交換

平成17年度は、介護保険改正の為の情報交換と、それに対する対策が主に検討された。交錯する介護保険の情報に戸惑う1年間だった。

各職種の意見交換では、看護、介護、支援相談員、リハビリ、栄養に分かれ、日々の流れや現在抱えている問題等が熱心に検討されていた。

また、今年度は療養部会と合同の会議と言う事で、新たな情報を頂き更に充実した部会となった。

訪問リハビリ部会

部会長 平原 栄里香

—第19回部会報告—

決定事項

①訪問活動状況

甘木朝倉医師会病院 12名/週 50名/月
太刀洗病院 1名/月1回
甘木中央病院 4～5名/日 25名/週 174名/月
香月病院 1名/週

②実績表・記録書についての報告 (拡大運営会議での確認事項の報告)

すべてケアマネージャーがFAXではなく郵送にて行っている。

③前回の症例検討後の経過報告 (甘木朝倉医師会病院)

④症例検討 (甘木中央病院)

⑤情報交換会

—第20回部会報告—

①訪問活動状況

甘木朝倉医師会病院：3名/週 12名/月
太刀洗病院：1名/月1回
甘木中央病院：6～8名/日 48名/週 189名/月
香月病院：2名/週

②症例検討後検討報告 (甘木中央病院)

③症例検討 (香月病院)

症例検討後各事業所から意見を出し合い書式・報告等の統一を図る

④情報交換会

第19回開催H17.9.5 全4事業所 7名参加

第20回開催H17.12.5 全4事業所 7名参加



通所介護部会

部会長 平島 鶴美

—第21回部会報告—

研修内容 通所でのリハビリテーション
報告事項 通所部会合同研修会アンケート集計結果
①講演内容について
・わかりやすく参考になった
・業務に生かしていきたい
・資料をつけてほしい
・基本的な動作の確認ができた
・パーキンソン利用者の講演がわかりやすかった
・負担を少なくする介護に改めて気づいた
・テーマが少し絞り込めてなかった
②通所系部会合同開催について
・実践にむすびつける内容なのでよかった
・今後もこのような部会を開催してほしい
・他の施設の問題点なども分かり良かった
・質問等をまとめてプリントしてほしい
③通所部会への要望等
・予防給付についての情報交換
・介護保険法改正後の各事業所の現状
・詳しくリハビリについての講演
・意見交換の場を作してほしい
※アンケート集計人数 34名

—第22回部会報告—

[議題]
1. デイサービスにおいて看護のあり方について
(1) 利用者の緊急時の対応
・契約書に基づいた対応をしている
・主治医に病状報告をして判断して頂く
・軽度の損傷時は家族に連絡して判断する
(2) 服薬の管理について
・内服持参していない利用者の場合は家族に連絡する
・服薬の変更時は家族との連絡ノートで情報交換する
・処方箋を管理して利用者の状態を把握する
・BMIで利用者状態を確認する
2. 一年間の反省
・情報交換できる通所部会を開催する
・共存共栄できるようにする
3. 平成18年度 新部会会長選出
・デイサービスセンター美和の里
4. その他
・予防介護にあたって情報交換や今後の課題にしていく
・合同部会開催について今後の対応

第21回開催日	H17.12.22	全15施設中12施設	20名参加
第22回開催日	H18.3.10	全15施設中12施設	24名参加

平成18年度 第2回スタッフセミナー

「制度改正の概要・事業者指導状況について」

去る平成17年9月28日(水)19時からピーポルト甘木中ホールにて第2回スタッフセミナーが開催されました。今回のセミナーのテーマは「制度改正の概要・事業者指導状況について」と題して福岡県介護保険広域連合本部事業課長の田中和男氏を講師に迎えて進められました。

セミナーではまず最初に制度改正の概要にふれられ、新たな介護保険制度について見直しの観点から制度の持続可能性と予防重視システムの確立の重要性が強調されました。そこには施設サービスと在宅サービスの現状と今後の介護予防と地域づくりの構想の裏づけがあるというものです。特に介護保険制度改正後は保険者である市町村を責任主体とした地域包括支援センターを含めた総合的な介護予防マネジメントシステムの確立が求められます。この地域密着型サービスですが、今後は市町村が事業計画の中で必要利用定員総数に基づき必要整備量を定めた小規模、認知症、多機能といったキーワードをもとにサービスが展開されるようになります。

次に事業者指導状況については、事業者規制の見直しとして、

- ①指定の欠格事由、指定の取り消し要件の追加
- ②指定の更新性の導入
- ③勧告、命令等の追加

といった観点から説明がされました。ここでは、介護保険法に基づいたサービスを提供する職員の介護保険制度の熟知が強調されました。

平成18年度を迎えるにあたり混乱が予想される中、事業所の協力要請を結びとしてセミナーが閉会されました。

(広報部 山口 由紀子)

平成18年度 甘木朝倉介護保険事業者協議会 総会開催のお知らせ

下記のとおり、平成18年度総会を開催させていただきますのでお知らせいたします。

日時 平成18年5月19日(金) 午後5時30分より(午後7時より懇親会開始)

場所 松屋ガーデンパレス(朝倉市)

編集後記

新年度も始まり制度改正もあり皆様益々ご多忙と存じます。会報の中にもご案内しておりますが、平成18年度総会が行われます。総会後に懇親会もありますので皆様ぜひご参加下さい。

最後に今号をもって広報部長最後の会報となります。原稿を書いていただいた方々大変ありがとうございました。今後は新部会長のもとでより良い会報ができると思っていますので、皆さんぜひご協力お願いいたします。

事務局

甘木朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0815 福岡県朝倉郡東峰村福井942-1
介護老人福祉施設 宝珠の郷
TEL (0946)72-9811 FAX (0946)72-9813

編集 / 発行所

甘木朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-0069 福岡県朝倉市来春6-2
社団法人 甘木朝倉医師会 ヘルパーステーション内
TEL (0946)21-0066 FAX (0946)21-0012
印刷 / 井上総合印刷株式会社